

- Web UI・UX プログラミング演習 I -

第1回

HTMLとCSSと ウェブブラウザ

講師：大藤 幹

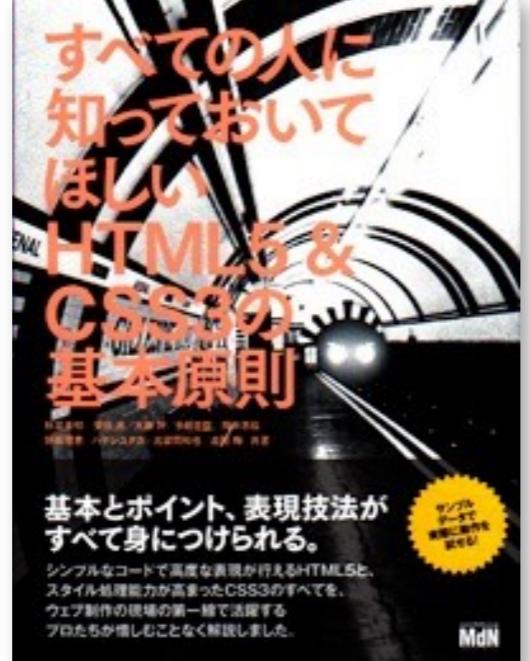


Webプロフェッショナルのための黄金則
XHTML+CSS虎の巻

大藤 幹 [著]

XHTML+CSSで「きちんとした」サイトを制作するために、知っておきたいこと。
最適な方法を短時間で判断し、効率的にサイトを制作するために、知っておくべきこと。
実際に役立つヒントやノウハウ、黄金則を満載した、
XHTML+CSS「虎の巻」!

マイナビ
WEB DESIGNER'S



基本とポイント、表現技法が
すべて身につけられる。

シンプルコードで高度な表現が
できるHTML5と、
スタイル処理能力が高まったCSS3のすべてを、
ウェブ制作の現場の第一線で活躍する
プロたちが惜しみなく解説しました。



10日で
おぼえる

CSS/CSS3
入門教室

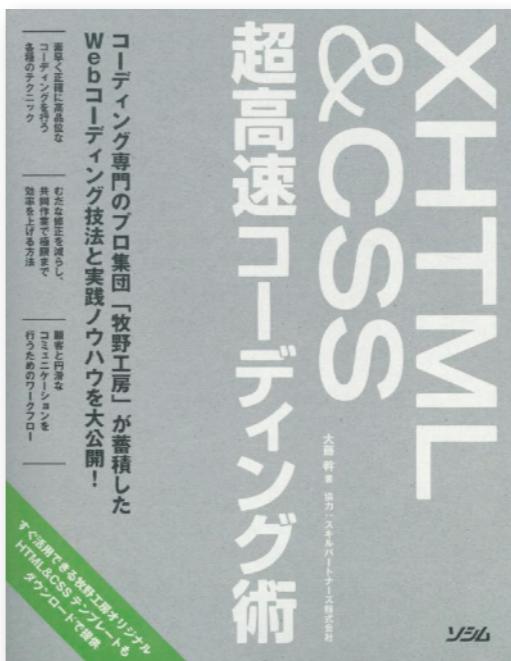
FULL COLOR

スタイルシートの定番と最新! まるごと習得!

書式や標準規格はもちろん、ボックスによるレイアウトテクニック、リストによるチザラショントイ、さらにCSS3の中道斜め角丸といった進化版から、技術・実用・アニメーションといった上級版まで。

初心者から上級者まで、さまざまなレベルに対応。

LESSON用のファイルがダウンロードできる!



超高速コーディング術

& CSS

HTML

コーディング専門のプロ集団「牧野工房」が蓄積した
Webコーディング技法と実践ノウハウを大公開!

書式や標準規格
チザラショントイ
CSS3
上級版
技術
実用
アニメーション
上級版

初心者から上級者まで、さまざまなレベルに対応。

LESSON用のファイルがダウンロードできる!



最新のウェブ標準を
「正しく」「詳しく」知りたいなら。
2016年11月1日版告白されたHTML 5.1を徹底的にわかりやすく整理!
HTML 5.1のレスポンシブイメージの詳細な指定方法がわかる!!

HTML5を出題範囲に含む
ウェブデザイン関連資格の
試験対策にも最適！
■西和システム



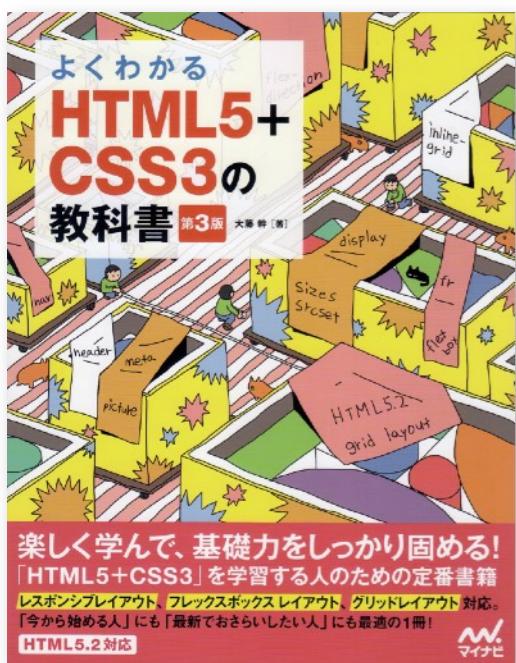
新標準 HTML Living Standard 対応
必要な3つの基礎知識が
この1冊でわかる!!

*おトクな3つの内容が1冊に!
HTMLタグ スタイル シート ジャバ スクリプト

10万突破!
安心の
定番辞典!!
■西和システム

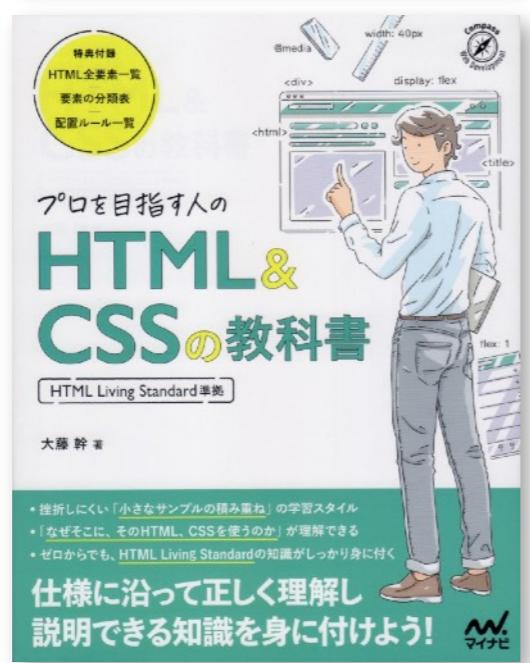


DaVinci Resolveの使い方、
ゼロからやさしく丁寧に教えます！



楽しく学んで、基礎力をしっかりと固める!
「HTML5+CSS3」を学習する人のための定番書籍
レスポンシブレイアウト、フレックスボックス レイアウト、グリッドレイアウト 対応。
「今から始める人」にも「最新でおさらいしたい人」にも最適の1冊!
HTML5.2対応

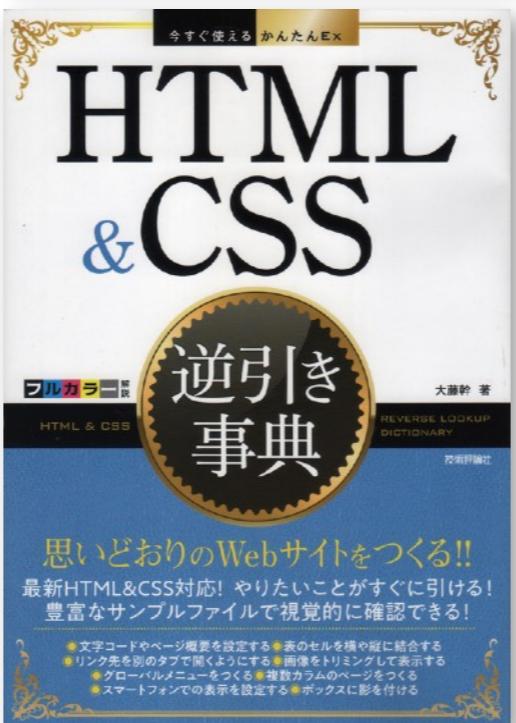
マイナビ



プロを目指す人の
HTML &
CSS の教科書

HTML Living Standard準拠

・挫折しつづく、「小さなサンプルの積み重ね」の学習スタイル
・なぜそこそこ、そのHTML、CSSを使うのかが理解できる
・ゼロからでも、HTML Living Standardの知識がしっかりと付く
仕様に沿って正しく理解し
説明できる知識を身に付けよう!

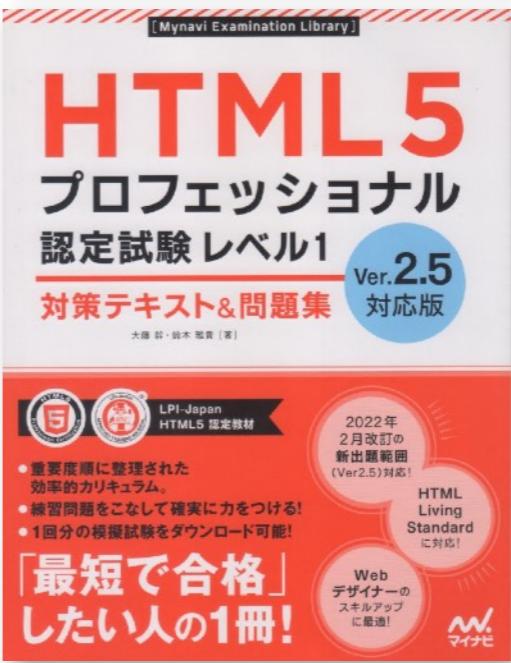


今すぐ使える かんたんEx
HTML & CSS

逆引き
事典

思いどおりのWebサイトをつくる!!
最新HTML&CSS対応! やりたいことがすぐに引ける!
豊富なサンプルファイルで視覚的に確認できる!

・文字コードやページ概要を設定する
・表のセルを横や縦に結合する
・リンク先を別のタブで開くようにする
・画像をトリミングして表示する
・グローバルメニューをつくる
・複数カラムのページをつくる
・スマートフォンでの表示を設定する
・ボックスに影を付ける



HTML5
プロフェッショナル
認定試験 レベル1
対策テキスト&問題集

Ver.2.5 対応版

大藤 幹・鈴木 邦貴 [著]

LPI-Japan HTML5 指定教材

2022年2月改訂の新出題範囲(Ver.2.5)対応!

HTML Living Standard 対応!

Webデザイナーの
スキルアップに最適!

マイナビ



HTML/
XHTML

汎用性の高いHTMLページの作成のために

大藤 幹

Extensible
HyperText
Markup
Language



CSS Best Practice / MIKI Dfuji

実際のサイトの実装例の分析に見る、
CSSテクニックの「最前線」と「これから」

[Web Designing] の好評連載「CSS Analysis」、単行本第2弾!



わかりやすい
「WAI-ARIA 1.0」
仕様解説書

なるほど
納得!



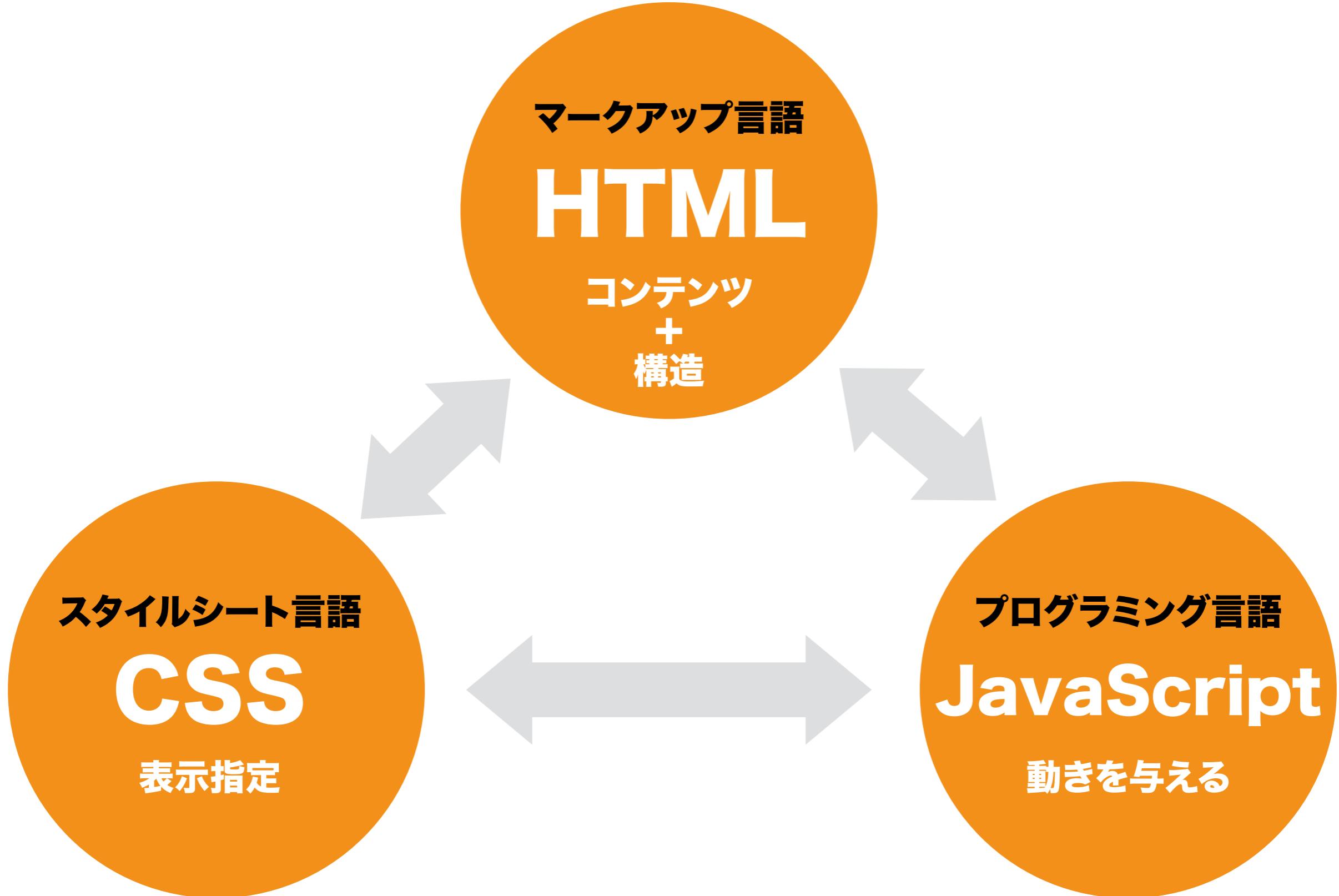
はじめての
HTML + CSS
HTML5対応

きちんと学びたい人のための最短教科書。
ウェブ・ホームページを1歩ずつ作っていくから
正しい使い方と意味を基礎からしっかり学べます。

「はじめて」でも「よくわかる」5つの必達ポイント
①制作環境の準備から書いてあるから心配せずにはじめられる。
②ゆっくり1つずつ学んでいくからHTMLタグの意味もよくわかる。
③一緒にCSSスタイルシートを学ぶから正しい使いかたが身につく。
④最新のHTML5とCSS3で解説しているから、手と役に立つ。

サンプル
ダウンロード
サービス

Webページ



本日の3限目と4限目の主な内容

3限目：HTMLの基礎知識＋演習

4限目：CSSの基礎知識＋演習

演習の準備

- ブラウザ: Google Chrome
- テキストエディタ: メモ帳(Windows)
テキストエディット(Mac)
- ファイルの拡張子を表示させる

演習の準備：Windowsの場合

- 「メモ帳」の設定

→「書式」メニューから

「右端で折り返す」を選択

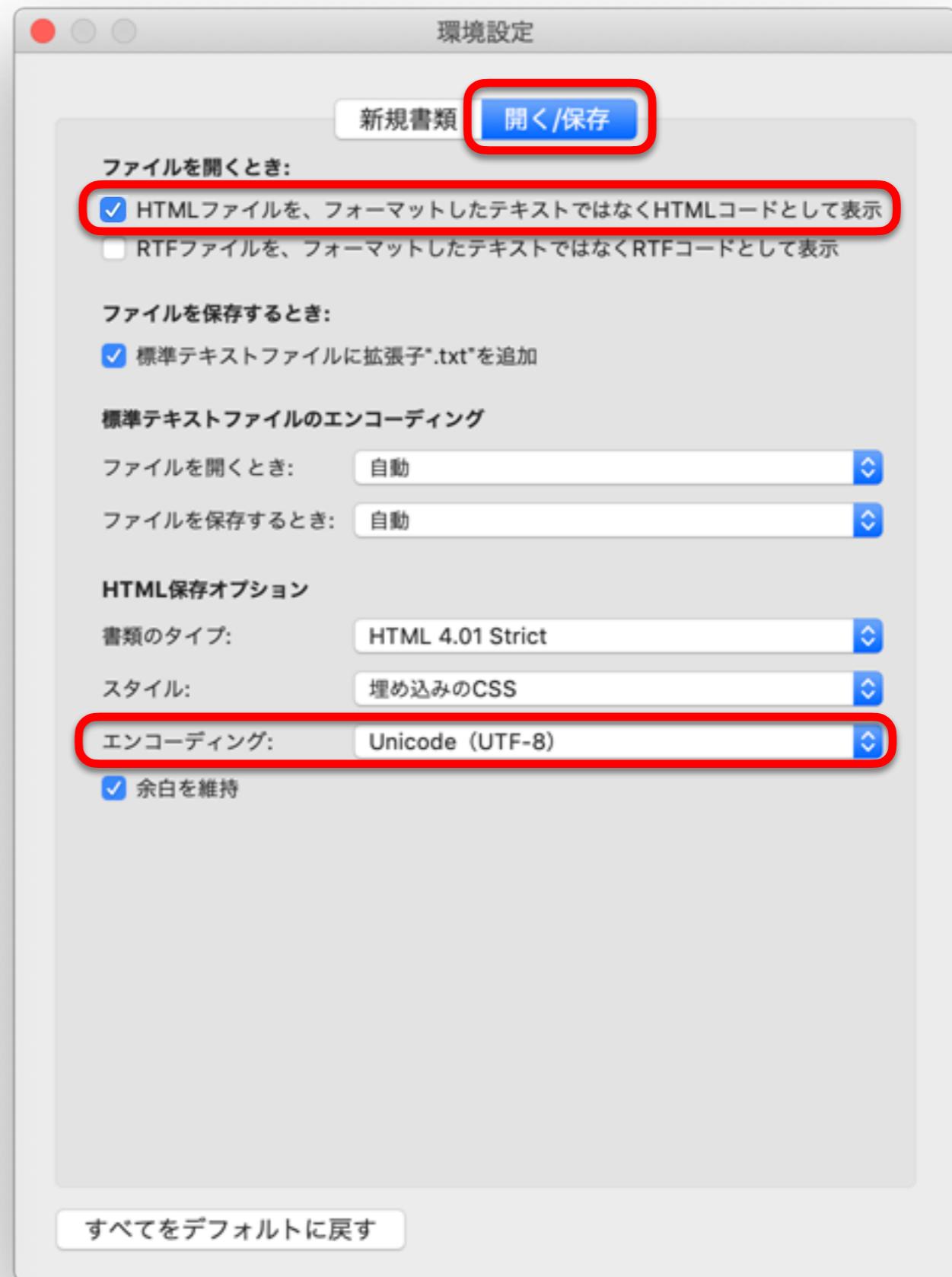
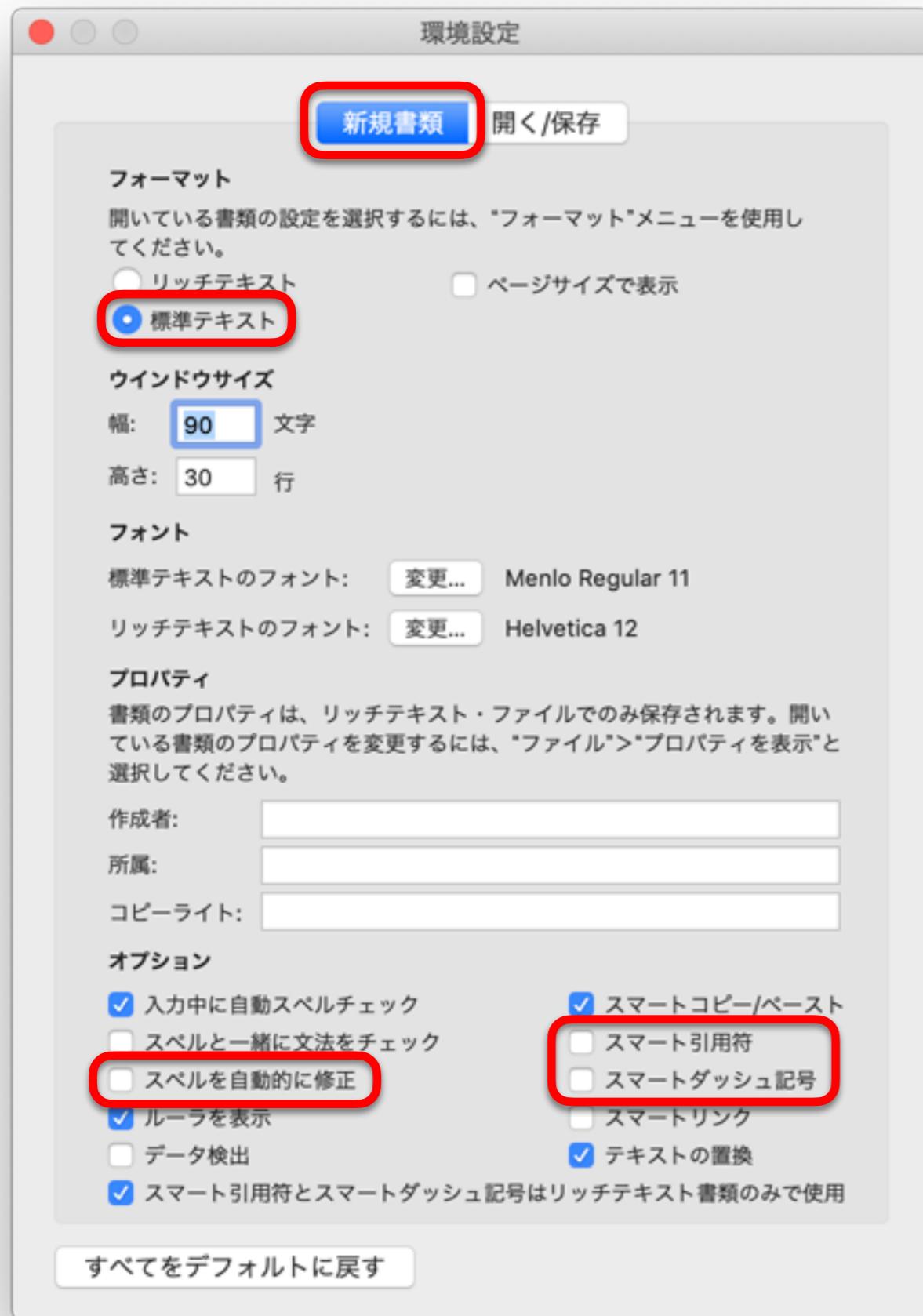
- 拡張子を表示させる方法

→ エクスプローラーの「表示」をクリック

「ファイル名拡張子」をチェック

演習の準備：Macの場合

- 「テキストエディット」の設定
 - 「テキストエディット」メニューから「環境設定...」を選択。
次ページの通りに設定。
- 拡張子を表示させる方法
 - Finderメニューの「環境設定...」「詳細」タブ→「すべてのファイル名拡張子を表示」をチェック



HTML

の基礎知識

HTMLの特徴

- 一般的なテキスト形式のファイル
- 表示方法に関する情報は含まない
(表示指定はCSSで行う)
- 文書内の各コンテンツが何であるかを
「記号と文字による目印」で示す

「記号と文字による目印」の例（イメージ）

<見出し>本プログラムについて</見出し>

<段落>国立大学法人電気通信大学が開講する
「ウェブシステムデザインプログラム」は、国
立大学で唯一、Web・ネットワークを中心に扱
う社会人履修証明プログラムです。</段落>

「記号と文字による目印」の例（イメージ）

<heading>本プログラムについて**</heading>**

<paragraph>国立大学法人電気通信大学が開講する「ウェブシステムデザインプログラム」は、国立大学で唯一、Web・ネットワークを中心に扱う社会人履修証明プログラムです。**</paragraph>**

「記号と文字による目印」の例（実際の目印）

<h1>本プログラムについて</h1>

<p>国立大学法人電気通信大学が開講する
「ウェブシステムデザインプログラム」は、国
立大学で唯一、Web・ネットワークを中心に扱
う社会人履修証明プログラムです。</p>

用語：マークアップ言語

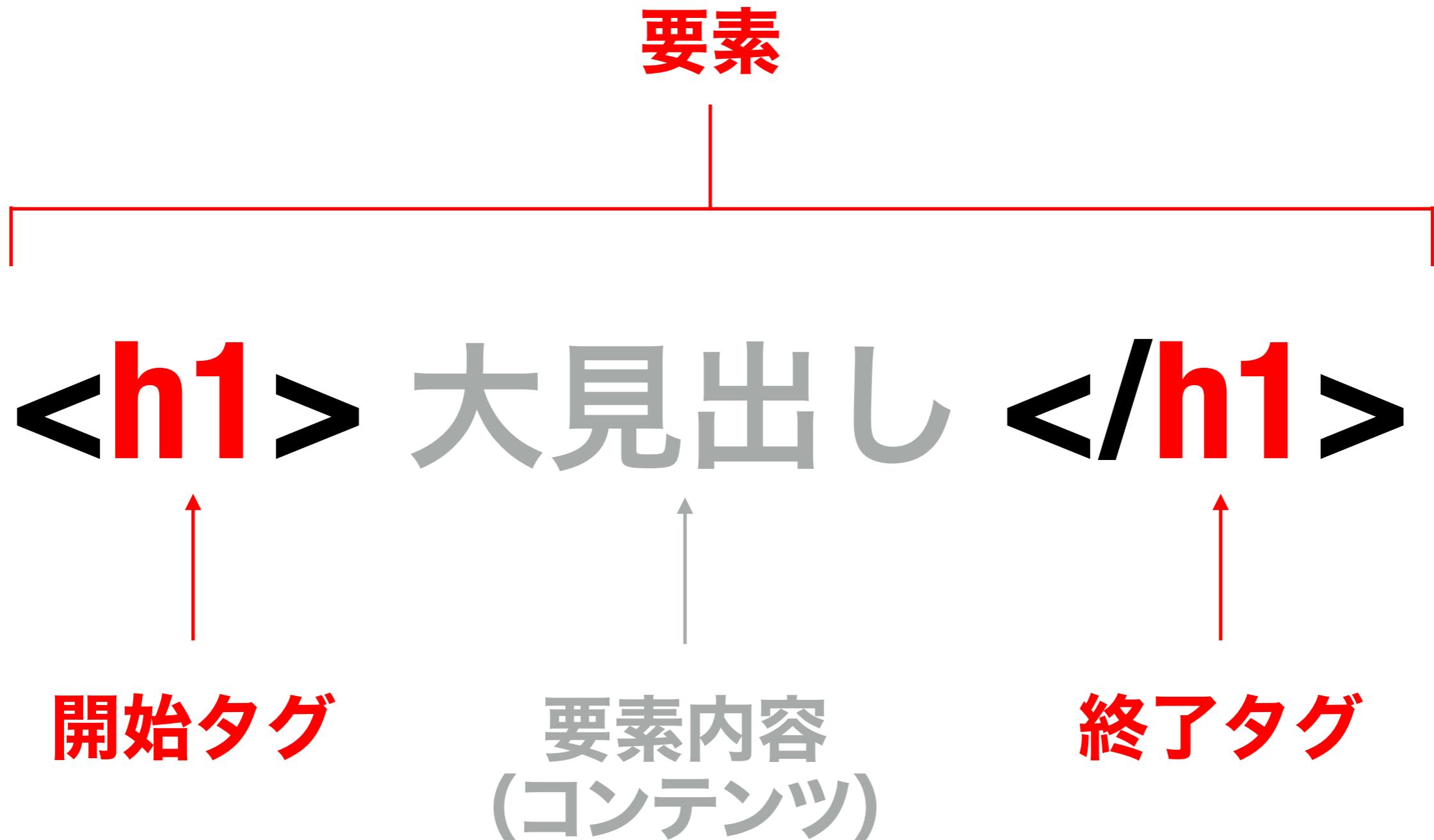
このように目印をつけるタイプの言語を
マークアップ言語 (**Markup Language**)
と言います。

参考情報

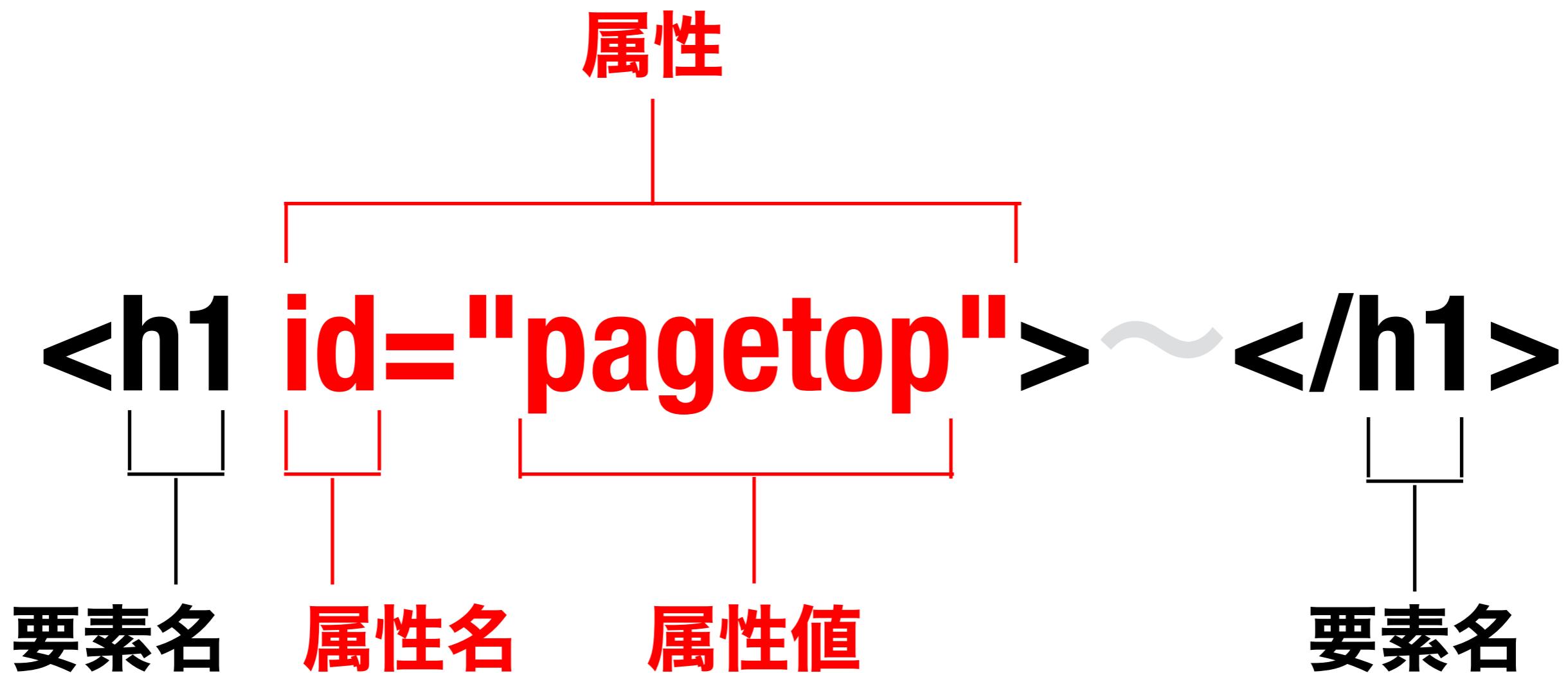
HTML

HyperText Markup Language

HTMLの書式と各部の名称（1）



HTMLの書式と各部の名称 (2)



用語：空白文字

半角スペース・タブ・改行（CR・LF・FFを含む）をまとめて**空白文字**と呼び、HTMLでは同様のものとして扱われます。

HTMLの書式のバリエーション (1)

```
<h1>大見出し</h1>
```

```
<h1>  
大見出し  
</h1>
```

```
<h1>  
          大見出し  
</h1>
```

※要素外、タグの直前直後の空白文字は無視される

HTMLの書式のバリエーション (2)

<h1>

これは
大見出し
です！

</h1>



これは 大見出し です！

※コンテンツ内の連続する空白文字は1つの半角スペースに

HTMLの要素の分類

ブロックレベル

一つのまとまった単位である要素
例) 見出しや段落など

インライン

文章内的一部分を構成する要素
例) 文章内の強調部分など

ブロックレベルの代表的な要素

要素名	元になっている英語	意味するもの
h1	heading level 1	階層1の見出し(大見出し)
h2	heading level 2	階層2の見出し(中見出し)
h3	heading level 3	階層3の見出し(小見出し)
h4	heading level 4	階層4の見出し
h5	heading level 5	階層5の見出し
h6	heading level 6	階層6の見出し

ブロックレベルの代表的な要素

要素名	元になっている英語	意味するもの
p	paragraph	段落
ul	unordered list	箇条書き
ol	ordered list	連番の箇条書き
section	section	章、節など
div	division	グループ化
pre	preformatted	整形済みテキスト

インラインの代表的な要素

要素名	元の英語	意味するもの
a	anchor	リンク(ハイパーアンク)
img	image	画像
em	emphasis	強調
strong	strong	重要
span	span	範囲
br	line break	強制改行

HTMLの 種類とバージョン

HTMLの主な種類とバージョン

- **HTML 4.01**
- **XHTML 1.0**
- **HTML 5.2**
- **HTML Living Standard**

[next](#) [table of contents](#) [elements](#) [attributes](#) [index](#)

HTML 4.01 Specification

W3C Recommendation 24 December 1999

superseded 27 March 2018

This version:

<https://www.w3.org/TR/2018/SPSD-html401-20180327/>

Latest version of HTML 4.01:

<http://www.w3.org/TR/html401>

Latest version of HTML 4:

<http://www.w3.org/TR/html4>

Latest version of HTML:

<https://www.w3.org/TR/html/>

Previous version of HTML 4.01:

<http://www.w3.org/TR/1999/REC-html401-19991224>

Previous HTML 4 Recommendation:

<http://www.w3.org/TR/1998/REC-html40-19980424>

Editors:

[Dave Raggett <dsr@w3.org>](mailto:Dave.Raggett@w3.org)

Arnaud Le Hors, W3C



XHTML™ 1.0 The Extensible HyperText Markup Language (Second Edition)

A Reformulation of HTML 4 in XML 1.0

W3C Recommendation 26 January 2000, revised 1 August 2002
superseded 27 March 2018

This version:

<http://www.w3.org/TR/2018/SPSD-xhtml1-20180327/>

Latest version:

<http://www.w3.org/TR/xhtml1>

Previous version:

<http://www.w3.org/TR/2002/REC-xhtml1-20020801>

Authors:

See [acknowledgments](#).

Please refer to the [errata](#) for this document, which may include some normative corrections. See also [translations](#).

This document is also available in these non-normative formats: [Multi-part XHTML file](#), [PostScript version](#), [PDF version](#), [ZIP archive](#), and [Gzip'd TAR archive](#).

HTML 5.2

W3C Recommendation, 14 December 2017
superseded 28 January 2021

**This version:**

<https://www.w3.org/TR/2021/SPSD-html52-20210128/>

Latest published version:

<https://www.w3.org/TR/html52/>

Latest published version of HTML:

<https://www.w3.org/TR/html/>

Previous version:

<https://www.w3.org/TR/2017/REC-html52-20171214/>

Editor's Draft:

<https://w3c.github.io/html/>

Editors:

[Steve Faulkner](#) (The Paciello Group)

[Arron Eicholz](#) (Microsoft)

[Travis Leithead](#) (Microsoft)

[Alex Danilo](#) (Google)

[Sangwhan Moon](#) (Invited Expert)

Former Editors:

[Erika Doyle Navara](#) (Microsoft)

W3C勧告(Recommendation)の種類

● Superseded Recommendation

→ 新しいバージョンに取って代わられた勧告
新しいバージョンの使用を推奨

● Obsolete Recommendation

→ 廃止するほどではないが時代遅れの勧告

● Rescinded Recommendation

→ 廃止された勧告

HTMLの主な種類とバージョン

- HTML 4.01
- XHTML 1.0
- HTML 5.2
- **HTML Living Standard**



現在参照すべきHTMLの唯一の仕様はこれ

HTMLの 要素の調べ方

HTML全要素一覧.xlsx

HTML 全112要素一覧

要素名	要素のあらわすもの・機能	要素名	要素のあらわすもの・機能
a	リンク	legend	fieldset要素(フォーム部品のグループ)のキャプション
abbr	略語	li	リスト内の1つの項目
address	問い合わせ先(電話番号・メールアドレスなど)	link	HTML文書と外部ファイルを関連づける
area	イメージマップの画像のリンクにする領域を定義する	main	メインコンテンツ
article	1つの記事全体をあらわすセクション	map	イメージマップを定義する
aside	補足記事や広告のような主内容ではないセクション	mark	(マーカーで線を引くのと同様の意図で)目立たせている部分
audio	音声データの再生	menu	ツールバー
b	注目してほしいキーワードや製品名など	meta	メタデータ
base	相対パスの基準とするURL	meter	メーター(ディスク使用量や何かの割合を示す際などに使用)
bdi	表記方向が逆の文字が入っても前後に影響を与えないようにする	nav	ナビゲーションのセクション
bdo	文字表記の方向を明示的に設定している範囲	noscript	スクリプトが動作しない環境向けの内容
blockquote	引用されたコンテンツ(ブロックレベル)	object	外部リソースの組込み
body	HTML文書のコンテンツを入れる要素	ol	連番付きのリスト
br	改行(詩や住所の表記などで使用)	optgroup	option要素のグループ
button	ボタン(要素内容をラベルとして表示する)	option	select要素またはdatalist要素の選択肢
canvas	スクリプトによるピットマップの動的グラフィック	output	計算結果を出力するためのフォーム部品
caption	表のキャプション	p	段落
cite	作品のタイトル	picture	複数の候補画像の中から条件に合った画像を表示させる
code	コンピュータが認識できるソースコード、要素名、ファイル名など	pre	整形済みテキスト
col	表の縦列	progress	プログレスバー(処理の進み具合を示す)
colgroup	表の縦列のグループ	q	引用されたコンテンツ(インライン)
data	要素内容の機械可読な値がvalue属性で保持されている要素	rp	ルビに未対応の環境で使用するカッコ
datalist	input要素で使用する入力候補のリスト(サジェスト機能)	rt	ルビとして表示させるテキスト
dd	dl要素内の「説明文」部分	ruby	ルビを振った部分(rt要素とrp要素の親要素として使用)
del	あとから削除された部分	s	正しい情報ではなくなった部分や関係なくなった部分
details	詳細情報を折りたたんで表示・非表示を切り替えられる要素	samp	コンピュータの出力のサンプル
dfn	定義の対象となっている用語	script	スクリプト
dialog	ダイアログボックス(インスペクタやウィンドウとしても使用化)	search	検索用のフォーム関連要素のグループ
div	汎用ブロックレベル要素/dt要素とdd要素のグループ化	section	一般的なセクション
dl	「用語」と「説明文」が対になったリスト	select	選択肢の中から選ぶ形式のフォーム部品
dt	dl要素内の「用語」部分	slot	シャドウツリーの外部から内部に要素を入れられるようにする
em	強調している部分	small	一般的に小さな文字であらわされる注記(著作権表記や注意事項など)
embed	プラグインによる外部データの組み込み	source	画像・動画・音声の候補データ(複数の候補データを指定可)
fieldset	フォーム部品のグループ	span	汎用インライン要素
figcaption	figure要素(図版)のキャプション	strong	重要な部分
figure	図版	style	要素内容としてCSSを書き込める要素
footer	フッター	sub	下付き文字
form	フォーム	summary	details要素の見出し
h1	1階層目の見出し(大見出し)	sup	上付き文字
h2	2階層目の見出し(中見出し)	table	表
h3	3階層目の見出し(小見出し)	tbody	表の本体部分の横列のグループ
h4	4階層目の見出し	td	表のセル(データ用)
h5	5階層目の見出し	template	内容をスクリプトで生成する部分
h6	6階層目の見出し	textarea	複数行のテキスト入力欄
head	HTML文書のメタデータを入れる要素	tfoot	表のフッターとして機能する横列のグループ
header	ヘッダー	th	表のセル(見出し用)
hgroup	見出しとそれに対する副題・サブタイトル等をグループ化	thead	表のヘッダーとして機能する横列のグループ
hr	段落レベルでの主題の変わり目/メニュー項目の区切り	time	要素内容である日付・時刻が機械可読である要素
html	HTML文書のすべての要素を含む要素(ルート要素)	title	HTML文書のタイトル
i	一般的なテキストとは違うことを示したい範囲	tr	表の横一列
iframe	オンラインフレーム	track	映像と同期して表示される外部字幕データを指定する
img	画像	u	中国語の固有名詞やスペルミスの箇所など
input	フォームの様々な基本部品になる要素	ul	箇条書き形式のリスト
ins	あとから追加された部分	var	変数
kbd	ユーザーが入力するデータ	video	動画データの再生
label	フォーム部品に関連付けられたラベルのテキスト	wbr	英単語などの途中で行を折り返してもよい位置



すべての要素を把握した上で、その中から最もふさわしいものを選んで使うのが基本



ふさわしい要素がない場合に限り、ブロックレベルであればdiv要素、オンラインであればspan要素としてマークアップする

ベストなのは仕様書の原文を参照すること

<https://html.spec.whatwg.org/multipage/>

A screenshot of a web browser window showing the 'HTML Standard' multipage version at <https://html.spec.whatwg.org/multipage/>. The page title is 'HTML' and the subtitle is 'Living Standard – Last Updated 5 May 2023'. A large green question mark icon is in the top right corner. Below the title, there are five green buttons: 'One-Page Version' (html.spec.whatwg.org), 'Multipage Version' (/multipage), 'Version for Web Devs' (/dev), 'PDF Version' (/print.pdf), and 'Translations' (日本語・简体中文). Below these are six smaller buttons: 'FAQ on GitHub', 'Chat on Matrix', 'Contribute on GitHub' (whatwg/html repository), 'Commits on GitHub', 'Snapshot as of this commit', 'Twitter Updates' (@htmlstandard), 'Open Issues filed on GitHub', 'Open an Issue' (whatwg.org/newbug), 'Tests' (web-platform-tests html/), and 'Issues for Tests' (ongoing work). At the bottom left is a 'Table of contents' link.

HTML

Living Standard – Last Updated 5 May 2023

?

[One-Page Version](#)
html.spec.whatwg.org

[Multipage Version](#)
/multipage

[Version for Web Devs](#)
/dev

[PDF Version](#)
/print.pdf

[Translations](#)
日本語・简体中文

[FAQ](#)
on GitHub

[Chat](#)
on Matrix

[Contribute on GitHub](#)
whatwg/html repository

[Commits](#)
on GitHub

[Snapshot](#)
as of this commit

[Twitter Updates](#)
@htmlstandard

[Open Issues](#)
filed on GitHub

[Open an Issue](#)
whatwg.org/newbug

[Tests](#)
web-platform-tests html/

[Issues for Tests](#)
ongoing work

Table of contents

[FAQ](#)
on GitHub

[Chat](#)
on Matrix

[Contribute on GitHub](#)
whatwg/html repository

[Commits](#)
on GitHub

[Snapshot](#)
as of this commit

[Twitter Updates](#)
@htmlstandard

[Open Issues](#)
filed on GitHub

[Open an Issue](#)
whatwg.org/newbug

[Tests](#)
web-platform-tests html/

[Issues for Tests](#)
ongoing work

Table of contents

- [1 Introduction](#)
- [2 Common infrastructure](#)
- [3 Semantics, structure, and APIs of HTML documents](#)
- [4 The elements of HTML](#)
- [5 Microdata](#)
- [6 User interaction](#)
- [7 Loading web pages](#)
- [8 Web application APIs](#)
- [9 Communication](#)
- [10 Web workers](#)
- [11 Worklets](#)
- [12 Web storage](#)
- [13 The HTML syntax](#)
- [14 The XML syntax](#)
- [15 Rendering](#)
- [16 Obsolete features](#)
- [17 IANA considerations](#)
- [Index](#)
- [References](#)
- [Acknowledgments](#)
- [Intellectual property rights](#)

[File an issue about the selected text](#)

- [17.1 text/html](#)
- [17.2 multipart/x-mixed-replace](#)
- [17.3 application/xhtml+xml](#)
- [17.4 text/ping](#)
- [17.5 application/microdata+json](#)
- [17.6 text/event-stream](#)
- [17.7 web+ scheme prefix](#)

Index

[Elements](#)

[Element content categories](#)

[Attributes](#)

[Element interfaces](#)

[All interfaces](#)

[Events](#)

[HTTP headers](#)

[MIME types](#)

References

Acknowledgments

Intellectual property rights

§ Elements

This section is non-normative

List of elements						
Element	Description	Categories	Parents†	Children	Attributes	Interface
a	Hyperlink	flow ; phrasing *; interactive ; palpable	phrasing	transparent *	globals ; href ; target ; download ; ping ; rel ; hreflang ; type ; referrerpolicy	HTMLAnchorElement
abbr	Abbreviation	flow ; phrasing ; palpable	phrasing	phrasing	globals	HTMLElement
address	Contact information for a page or article element	flow ; palpable	flow	flow *	globals	HTMLElement
area	Hyperlink or dead area on an image map	flow ; phrasing	phrasing *	empty	globals ; alt ; coords ; shape ; href ; target ; download ; ping ; rel ; referrerpolicy	HTMLAreaElement
article	Self-contained syndicatable or reusable composition	flow ; sectioning ; palpable	flow	flow	globals	HTMLElement
aside	Sidebar for tangentially related	flow ; sectioning ; palpable	flow	flow	globals	HTMLElement

HTML Standard

html.spec.whatwg.org/multipage/sections.html#the-h1,-h2,-h3,-h4,-h5,-and-h6-elements

4.3.6 The h1, h2, h3, h4, h5, and h6 elements

MDN

Categories: ————— この要素の属するカテゴリー

MDN

[Flow content.](#)

[Heading content.](#)

[Palpable content.](#)

Contexts in which this element can be used: ————— この要素を配置できる場所

As a child of an [hgroup](#) element.

Where [heading content](#) is expected.

Content model: ————— 要素内容として入れられる要素

[Phrasing content.](#)

Tag omission in text/html: ————— タグの省略ができるかどうか

Neither tag is omissible.

Content attributes: ————— 指定可能な属性

[Global attributes](#)

Accessibility considerations:

[For authors.](#)

[For implementers.](#)

DOM interface:

IDL [Exposed=Window]

```
interface HTMLHeadingElement : HTMLElement {  
    [HTMLConstructor] constructor();  
  
    // also has obsolete members  
};
```

↓この下に要素の説明があります

日本語で書かれているオススメのサイト

<https://reference.hyper-text.org/html5/>

HTML5 タグリファレンス | W3

W3 Watch Reference

HTML5 タグリファレンス

HTML CSS

search keywords

HTML5 要素一覧

a

- ▶ a 要素
- ▶ abbr 要素
- ▶ address 要素
- ▶ area 要素
- ▶ article 要素
- ▶ aside 要素
- ▶ audio 要素

b

- ▶ b 要素
- ▶ base 要素
- ▶ bdi 要素

W3 Watch Reference

HTML5 Tag Reference

HTML5 タグリファレンス

HTML5 (HTML Standard) の各要素について、要素の意味、分類、利用できる属性と値、サンプルソースなどを掲載しています。用途から逆引きも可能です。

このリファレンスについて

この HTML5 リファレンスは、WHATWG が公開している HTML 仕様書 ([HTML Living Standard](#)) を基にして日本語で解説したものです。HTML Standard 仕様書のすべてを翻訳

HTML の全体構造

- この演習で使用するファイル -

第1回-教材データ/1/index.html

HTMLの全体構造

文書型宣言 ← <!DOCTYPE html>

```
<html lang="ja">
  <head>
    <meta charset="UTF-8">
    <title></title>
  </head>
  <body>
    </body>
  </html>
```

The diagram illustrates the structure of an HTML document. It features a red bracket on the left side that encompasses the entire code block. A red arrow originates from the text '文書型宣言' (Document Type Declaration) and points specifically to the first line of the code, which is the DOCTYPE declaration: '<!DOCTYPE html>'. This visual cue highlights the importance of the document type in defining the structure of the page.

文法チェック の方法

The W3C Markup Validation Service

W3CによるHTMLの文法チェックツール



<https://validator.w3.org/>

A screenshot of a web browser window showing the W3C Markup Validation Service. The title bar says "The W3C Markup Validation Service". The address bar shows "保護された通信 | https://validator.w3.org". The main content area has a blue header with the W3C logo and the text "Markup Validation Service" and "Check the markup (HTML, XHTML, ...) of Web documents". Below the header are three buttons: "Validate by URI" (highlighted in blue), "Validate by File Upload", and "Validate by Direct Input". Underneath these buttons is a section titled "Validate by URI" with the sub-instruction "Validate a document online:" followed by a text input field containing "http://validator.w3.org/".



Markup Validation Service

Check the markup (HTML, XHTML, ...) of Web documents

URLを指定してチェック ファイルをアップロードしてチェック

コピペしてチェック

Validate by URI

Validate by File Upload

Validate by Direct Input

Validate by URI

Validate a document online:

Address:

► More Options

Check

The W3C Markup Validation Service

保護された通信 | https://validator.w3.org/#validate_by_upload

Markup Validation Service

Check the markup (HTML, XHTML, ...) of Web documents

アップロードしてチェック

[Validate by URI](#) [Validate by File Upload](#) [Validate by Direct Input](#)

Validate by File Upload

Upload a document for validation:

File: ファイルを選択 index.html

▶ More Options

Check

Note: file upload may not work with Internet Explorer on some versions of Windows XP Service Pack 2, see our [information page](#) on the W3C QA Website.

This validator checks the [markup validity](#) of Web documents in HTML, XHTML, SMIL, MathML, etc. If you wish to validate specific content such as [RSS/Atom feeds](#) or [CSS stylesheets](#), [MobileOK content](#), or to [find broken links](#), there are [other validators and tools](#) available. As an alternative you can also try our [non-DTD-based validator](#).



This validator checks the [markup validity](#) of Web documents in HTML, XHTML, SMIL, MathML, etc. If you wish to validate specific content such as [RSS/Atom feeds](#) or [CSS stylesheets](#), [MobileOK content](#), or to check how well the document will work in mobile devices, see the [other validators](#).

Use the Message Filtering button below to hide/show particular messages

Message Filtering

1. **Error** Element `title` must not be empty.

From line 5, column 8; to line 5, column 15

```
">↔<title></title>↔</hea
```

Document checking completed.

Used the HTML parser.

Total execution time 2 milliseconds.

Showing results for uploaded file

保護された通信 | <https://validator.w3.org/nu/#file>

Nu Html Checker

This tool is an ongoing experiment in better HTML checking, and its behavior remains subject to change

Showing results for uploaded file index.html

Checker Input

Show source outline image report [Options...](#)

Check by [file upload](#) [ファイルを選択](#) 選択されていません

Uploaded files with .xhtml or .xht extensions are parsed using the XML parser.

[Check](#)

Document checking completed. No errors or warnings to show.

Used the HTML parser.

Total execution time 1 milliseconds.

マークアップ の練習

- この演習で使用するファイル -

第1回-教材データ/2/index.html

マークアップの練習

<h1>大見出し</h1> ← heading rank 1 の略

<p>段落</p> ← paragraph の略

 ← unordered list の略

箇条書きの項目1 ← list item の略

箇条書きの項目2

箇条書きの項目3

テキストを
リンクさせる(1)

- この演習で使用するファイル -

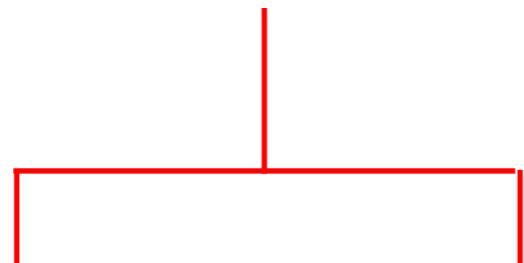
第1回-教材データ/3/about.html

第1回-教材データ/3/contact.html

第1回-教材データ/3/index.html

テキストをリンクさせる（1）

ファイルのパス（場所とファイル名）を指定



```
<a href="リンク先"> ● ● ● </a>
```

パスの種類

● 絶対パス

例) `https://www.w3.org/index.html`

● 相対パス

例) `about.html` ← 同じフォルダ内のファイル

例) `images/photo.jpg` ← `images`フォルダ内のファイル

例) `../index.html` ← 1つ上の階層にあるファイル

例) `../../images/header/logo.jpg`

テキストをリンクさせる（1）

このサンプルではファイル名

```
<a href="about.html"> · · · </a>
```

id属性と class属性

要素に名前をつけるグローバル属性

ページ内で固有の名前

```
<p id="a01" class="lede top">  
  . . .  
</p>
```

種類や分類をあらわす名前
複数の名前を指定可能

テキストを
リンクさせる(2)

- この演習で使用するファイル -

第1回-教材データ/**4**/index.html

テキストをリンクさせる (2)

```
<h1 id="id名"> · · · </h1>
```

例 : top

```
<a href="#id名"> · · · </a>
```

例 : #top

テキストをリンクさせる (2)

```
<h1 id="top"> · · · </h1>
```

```
<a href="#top"> · · · </a>
```



**画像を
表示させる**

- この演習で使用するファイル -

第1回-教材データ /5/beach.jpg

第1回-教材データ /5/index.html

画像を表示させる

このサンプルではファイル名

```

```

画像を表示できないときに
代わりに使用するテキスト

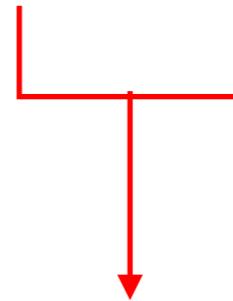
テキスト入力欄や
ボタン類を
表示させる

- この演習で使用するファイル -

第1回-教材データ/6/index.html

テキスト入力欄やボタン類を表示させる

```
<input type="text">
```



password

checkbox

radio

submit

WebClassで
確認テスト
を行なってください